「（仮称）北海道檜山地方洋上風力発電事業 計画段階環境配慮書」の提出

２０２４年１１月２２日
関西電力株式会社

当社とＲＷＥ Renewables Japan 合同会社は、本日、環境影響評価法に基づき、北海道檜山地方洋上風力発電事業に関する計画段階環境配慮書等※を経済産業大臣へ提出し、北海道知事へ意見を求めました。

配慮書等は、本年１１月２５日から１２月２４日まで、関係行政機関および当社ホームページで公表します。

両社は今後、地域の皆さまや関係行政機関からのご意見を賜り、環境保全に十分配慮し、事業実施の可能性など検討を進めてまいります。

当社グループは、２０４０年までに国内で新規開発５００万ｋW、累計開発９００万ｋW規模を目標に再生可能エネルギーの普及・拡大に取り組み、ゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

※環境の保全のために配慮すべき事項について検討を行い、その結果をまとめたもの。

以　上

＜（仮称）北海道檜山地方洋上風力発電事業の概要＞

事 業 者	関西電力株式会社、ＲＷＥ Renewables Japan 合同会社
場　　所	北海道檜山地方の沖合海域
設備規模 （発電出力）	最大 １，６８０，０００ｋW （１４，０００～２４，０００ｋW級風力発電設備 最大１２０基程度）
今後の流れ	配慮書（今回）→ 方法書 → 環境調査 → 準備書 → 評価書

＜事業実施想定区域＞

※上図は国土地理院で公開されている地理院タイルを使用
※赤枠の範囲内が事業の可能性を検討している範囲

配慮書の公表及び縦覧案内については こちら をご覧ください。